

### 第3回 雨天時浸入水対策ガイドライン策定検討委員会 議事要旨

日時：令和元年12月13日（金）15:00～17:00

場所：公益財団法人日本下水道新技術機構

- ・ 計画汚水量の時間最大等の使用する言葉の表現について統一を図る方がよい。
- ・ 「第4章モニタリング・応急対策」で把握する「事象」の内容は、「第2章現状の把握」に記載の「事象」の把握と同様のものか。同様であるならば「第4章モニタリング・応急対策」の解説等で説明すべきと考える。
- ・ 2ページの「目的」について、雨天時浸入水対策計画の策定を踏まえ、「計画」についても記載した方がよい。
- ・ 3ページ目の3つの事象について、ポンプ施設についても記載した方がよい。
- ・ P4図1-1の青の着色及びP7図1-2の赤矢印について、説明を入れた方がよい。
- ・ 図3-2で最大雨量と日最大の雨天時浸入水量の抽出例は日単位で書かれているが、本文に「日単位と時間単位」という記載があるので、時間最大のグラフも作成した方がよい。
- ・ 2ページ目で「今後知見の集積を図り、適宜見直しを行う」という記載について、適宜今後見直すならば今すぐ実施しなくてもよいと解釈されてしまう可能性があるため、記載を再考すべきと考える。
- ・ 21ページ目の処理施設での対策で、「既設の施設を最大限に活用する」等の対策を記載した方がよい。
- ・ 参考資料1のP1について、30年と例示した意図は何か。
- ・ 参考資料1のP10について、一定以上のデータ数が必要であることや、強度が強い雨、中程度の雨等の色々な種類の雨を収集することについて、記載した方がよい。
- ・ 参考資料1において浸入率の算定の際に計画降雨規模を超過しているデータは、控除している理由について説明を入れた方がよい。
- ・ 参考資料1 P12の図1.3については記載が細か過ぎるため期間を変更する方がよい。
- ・ このガイドライン等により、各地方公共団体の雨天時浸入水対策への取組みをしっかりと促進して頂きたい。